

平成27年7月16日

関係機関の長  
関係学部等の長 殿

東京大学大気海洋研究所  
所長 津田 敦 (公印省略)

### 教員の公募について

このたび、本研究所では下記の要領で教員を公募します。つきましては、関係者各位にお知らせいただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします。

#### 記

1. 採用人員 東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター 沿岸保全分野 准教授 1名

2. 採用予定時期 平成28年1月以降のできるだけ早い時期

#### 3. 公募の趣旨

当センター(岩手県大槌町)は、国際的な視点から沿岸海洋環境や生態系の理解および環境保全等に関する研究を進めています。平成23年3月に発生した東日本大震災によって研究施設は壊滅的被害を受けましたが、震災直後から徐々に施設と機能の仮復旧を進め、平成24年4月には新たに生物資源再生分野を設置して、地震と津波が海洋生態系や海洋環境に及ぼした影響とその再生過程の解明を目的とした研究を主導的に展開しています。平成29年度末までには、同じ大槌町内に研究棟を再建し、これまで以上に国際的研究拠点としての機能を充実させる予定です。

本公募では、大槌湾および三陸沿岸域を主なフィールドとして、沿岸域の低次生産・物質循環に関する研究を国内外の大学や試験研究機関と共同して精力的に展開することにより、海洋生態系の保全や生物生産構造の解明に貢献しうる人材を求めます。また、センターの再建や再建後の様々な活動に中心的に参画し、共同利用・共同研究拠点としてのセンターの復旧・発展を通じて、三陸地域の復興に貢献する高い意欲のある方を希望します。大学院教育にも積極的に携わっていただきます。

#### 4. 勤務地

当面、東京大学柏キャンパス(千葉県柏市)が勤務地となりますが、大槌で展開する分野の研究や共同利用・共同研究の状況に応じて、大槌に滞在して研究・業務を行っていただき、状況によっては新研究棟の完成以前に大槌町の現センターを勤務地としていただく場合もあります。新研究棟完成後は、岩手県大槌町が勤務地となります。

#### 5. 提出書類

- 1) 履歴書(東京大学統一様式([http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html))による。写真貼付のこと。)
- 2) 研究業績目録(原著論文、総説、その他に分けて査読の有無を明記すること。わかるものについて、被引用回数とWeb of Science等の使用したデータベース名を付記すること。)
- 3) 主要論文5編の別刷(またはコピー)各1部
- 4) これまでに行なってきた研究の概要(1200字程度)
- 5) 今後の研究とセンターの活動および三陸復興に対する抱負(1200字程度)
- 6) これまでの教育経験と今後の大学院教育への抱負(500字程度)
- 7) これまでに獲得した外部資金、所属学会、学会等における活動実績、その他参考になる事項
- 8) 応募者について参考意見を述べることのできる人(2名)の氏名および連絡先

6. 応募書類提出期限 平成27年9月18日(金) 17時 必着

7. 選考方法 書類選考の後、少数名を対象として面接を行います。

#### 8. 提出書類送付先

〒277-8564 千葉県柏市柏の葉5-1-5 東京大学大気海洋研究所・所長 津田 敦 宛

(封筒に「沿岸保全分野准教授応募書類在中」と朱書き、簡易書留等で送付してください。応募書類は本公募の選考に係る作業の目的以外には使用しません。なお、特に要望がない限り、応募書類は選考後も返却いたしません。)

#### 9. 国際沿岸海洋研究センターの教員構成(平成27年7月16日現在)

【分野】	【教授】	【准教授】	【助教】
沿岸生態	道田 豊(兼務)	田中 潔	白井厚太郎
沿岸保全	青山 潤・佐藤克文(兼務)	<b>本公募</b>	福田秀樹
生物資源再生	河村知彦(センター長)	北川貴士	早川 淳

10. 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。

#### 11. 問い合わせ先

東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター・教授(センター長) 河村知彦

Tel: 04-7136-6261 e-mail: kawamura@aori.u-tokyo.ac.jp (◎を@に変えて送信して下さい。)

(大気海洋研究所については <http://www.aori.u-tokyo.ac.jp/>を参照してください。)